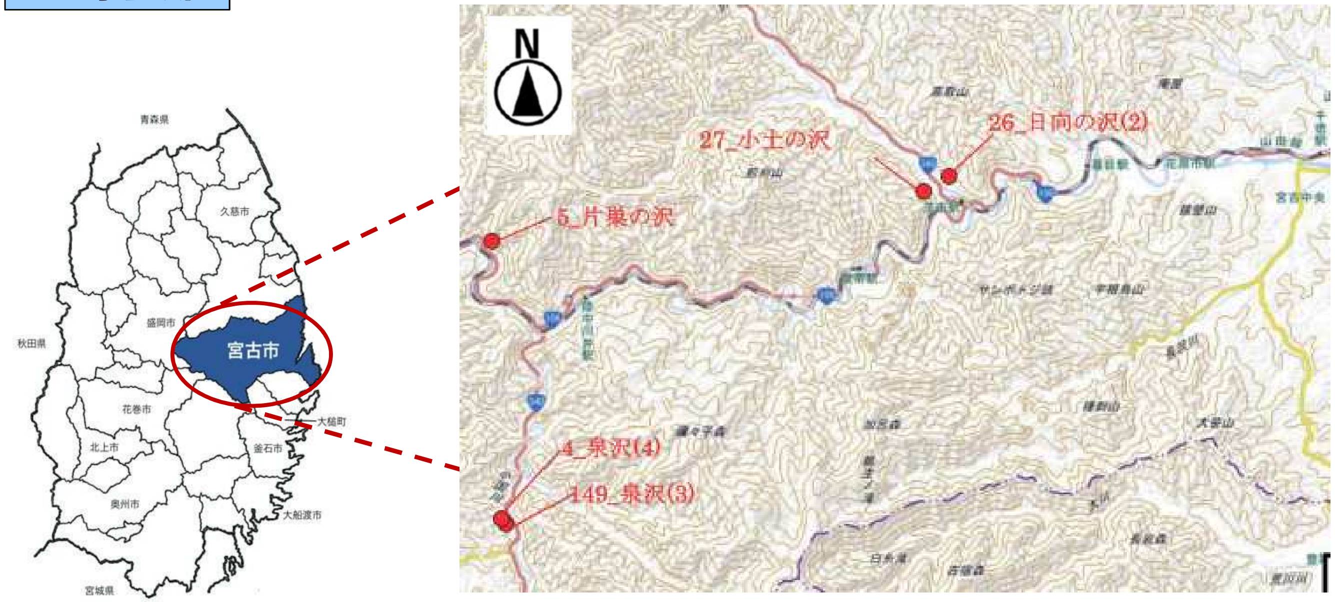
災害関連緊急砂防事業

・宮古市内の茂市、江繋、片巣地区の土石流危険渓流において、平成28年台風10号で土石流が発生し、人家等へ被害が発生しました。

・当該事業は、人家への被害が大きかった箇所や今後の降雨等で土砂流出の恐れがあり、緊急に対策が必要な箇所を対象に、再度の土砂災害を防ぐ目的で早急に施設整備を行うものです。

・宮古土木センターでは現在、以下の5渓流において砂防堰堤を建設中です。

工事箇所



砂防堰堤完成イメージ

計画概要

●小土ノ沢　堤長:33.0m　堤高:9.5m

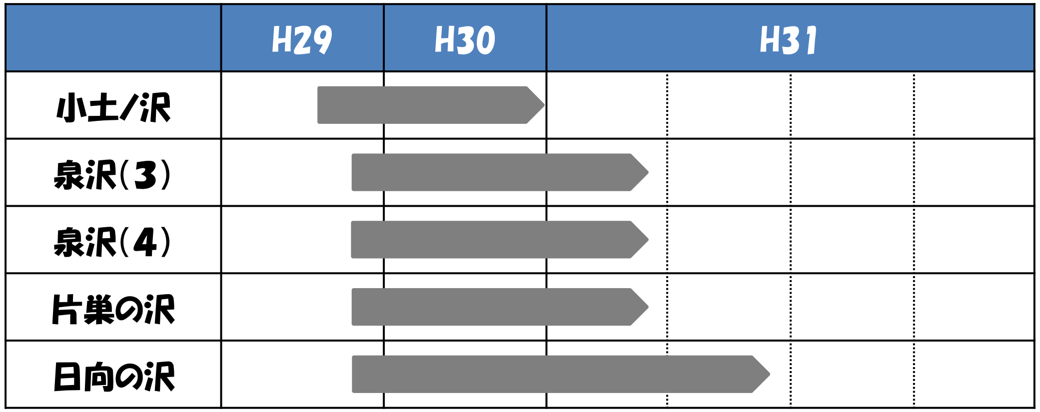
●泉沢(3)　堤長:22.5m　堤高:6.0m

●泉沢(4)　堤長:25.5m　堤高:8.5m

●片巣の沢　堤長:46.5m　堤高:13.5m

●日向の沢　堤長:31.0m　堤高:8.5m

工事工程表(予定)

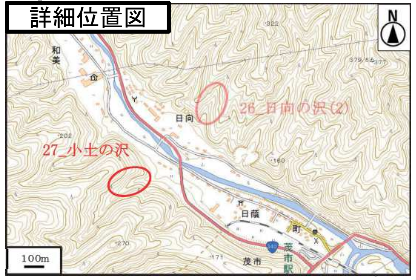


被災状況・工事状況写真

小土ノ沢

H28.9月撮影

H30.11月撮影

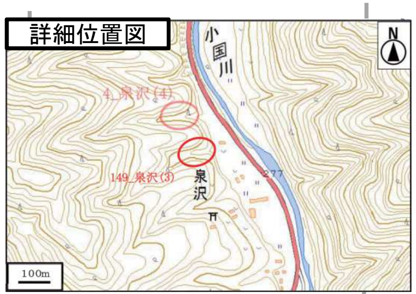


詳細位置図

泉沢(3)

H28.9月撮影

H30.12月撮影

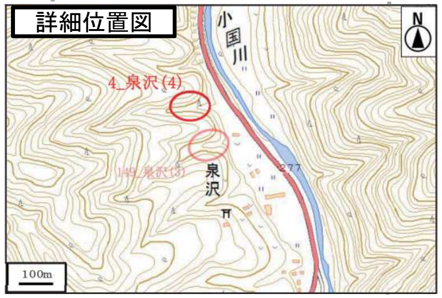


詳細位置図

泉沢(4)

H28.9月撮影

H30.12月撮影

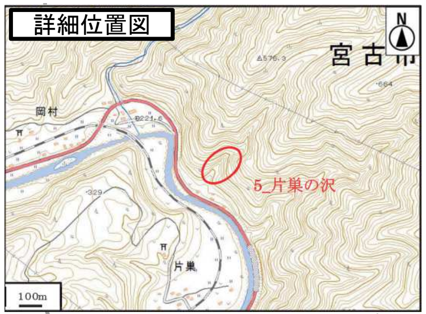


詳細位置図

片巣の沢

H28.9月撮影

H30.11月撮影

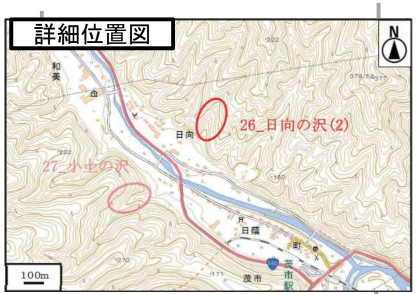


詳細位置図

日向の沢

H28.9月撮影

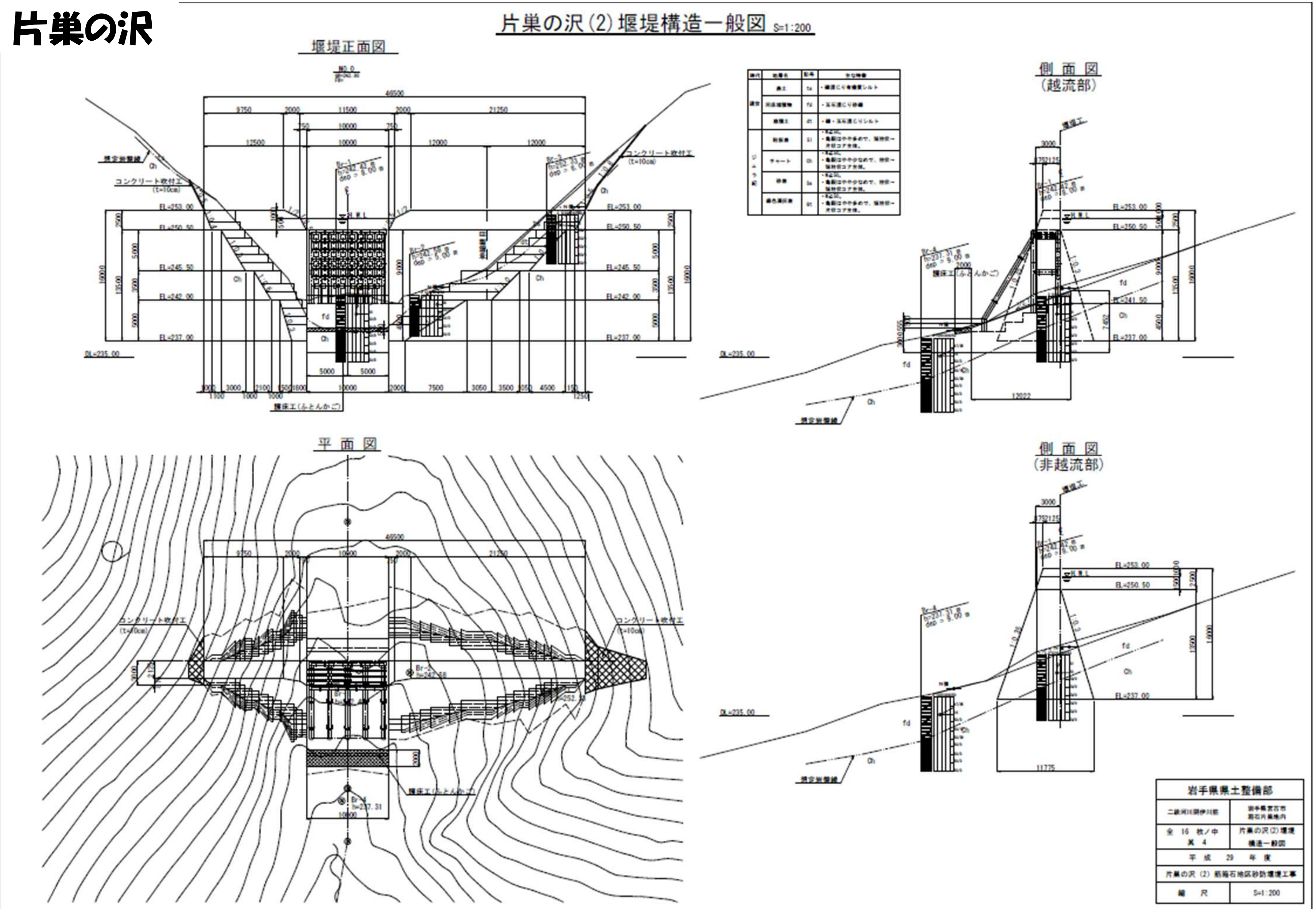
H30.12月撮影



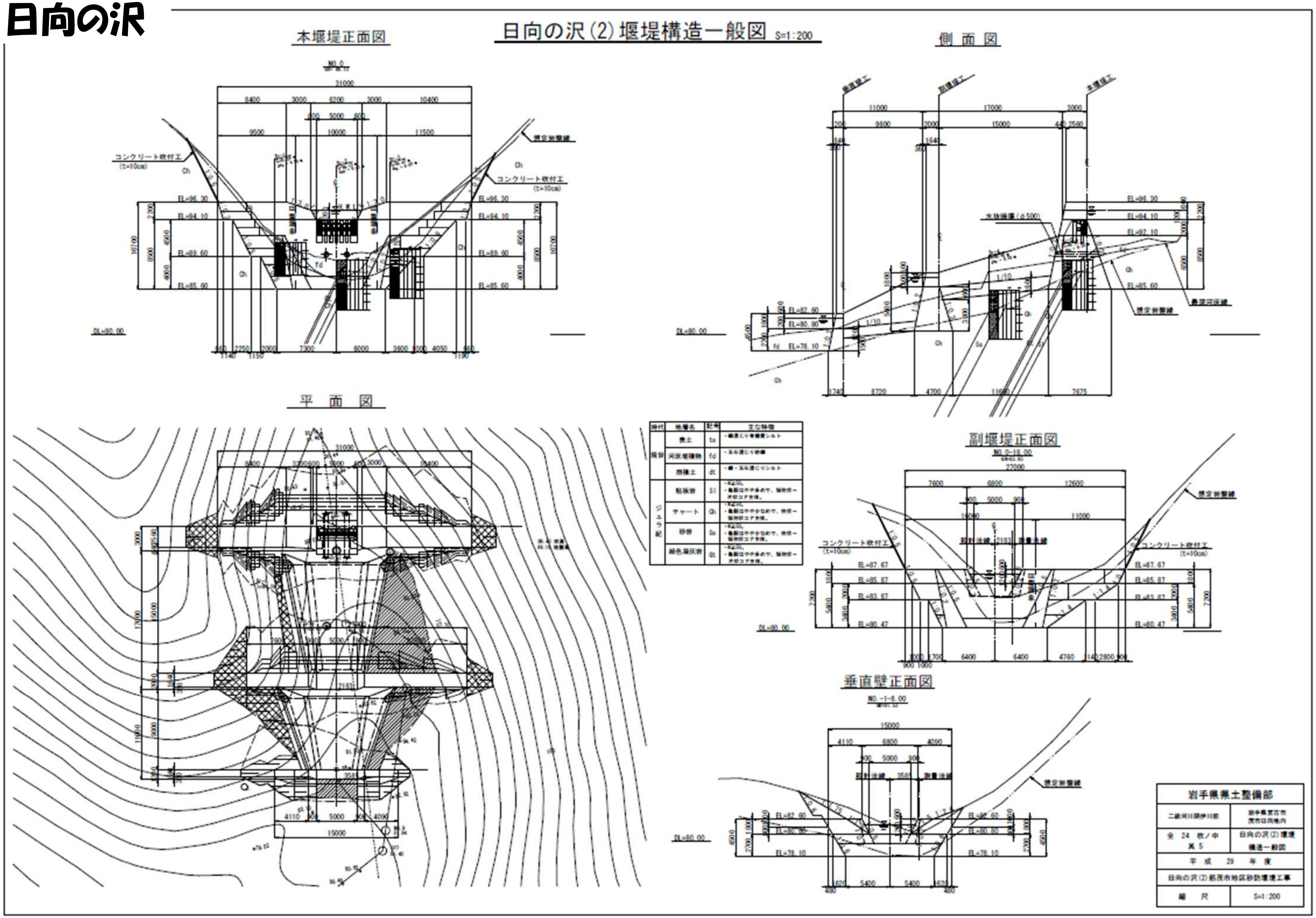
詳細位置図

図面（構造一般図）

片巣の沢



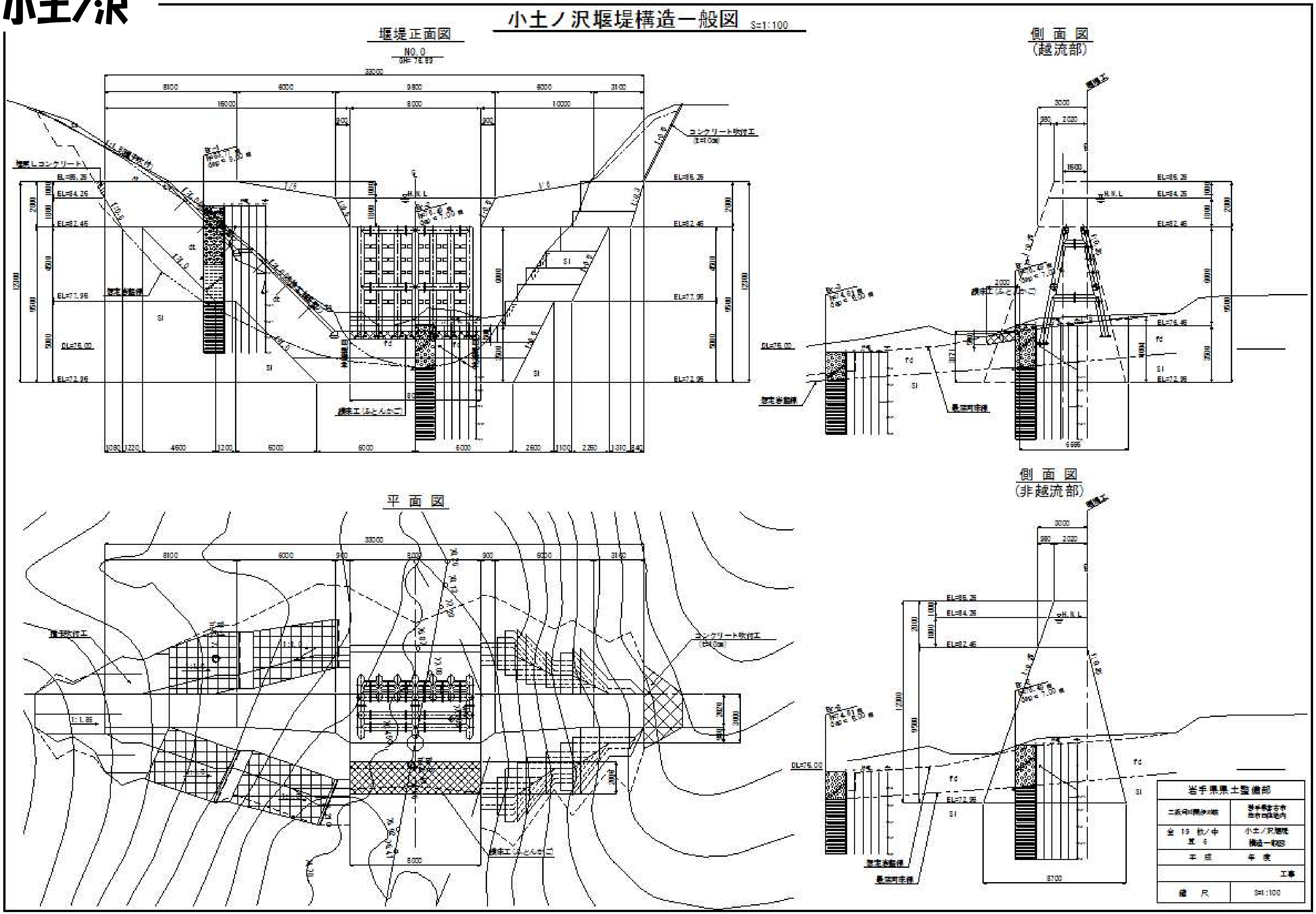
日向の沢



時代	地層名	記号	主な特徴
現世	表土	ts	・礫混じり有機質シルト
	河床堆積物	fd	・玉石混じり砂礫
	崖錐土	dt	・礫・玉石混じりシルト
ジュラ紀	粘板岩	Sl	[illegible]
	チャート	Ch	[illegible]
	砂岩	Ss	[illegible]
	緑色凝灰岩	Gt	[illegible]

岩手県県土整備部	
二級河川閉伊川筋	岩手県宮古市 茂市日向地内
全 24 枚ノ中 第 5	日向の沢(2)堰堤 構造一般図
平成 29 年度	
日向の沢(2)箱茂市地区砂防堰堤工事	
縮尺	S=1:200

小土ノ沢



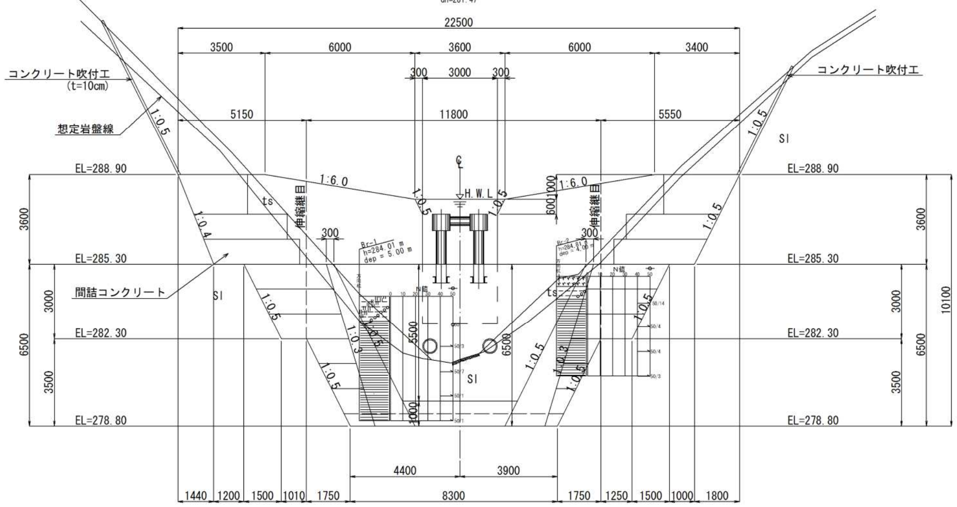
小土ノ沢堰堤構造一般図 S=1:100
堰堤正面図
NO.0
GH=76.89
33000
8100
6000
9800
6000
3100
16000
8000
10000
EL=86.26
EL=84.26
EL=82.46
EL=77.96
EL=72.96
DL=75.00
H.W.L
コンクリート吹付工
(t=10cm)
想定岩盤線
護床工(ふとんかご)
1080 1220 4600 1200 6000 6000 6000 2600 1100 2260 1310 840
側面図
(越流部)
3000
980 2020
1600
EL=76.46
6695
最深河床線
平面図
側面図
(非越流部)
8700
岩手県県土整備部
平成 年度
工事
縮尺 S=1:100
全 19 枚ノ中 第 6
小土ノ沢堰堤 構造一般図

泉沢(3)

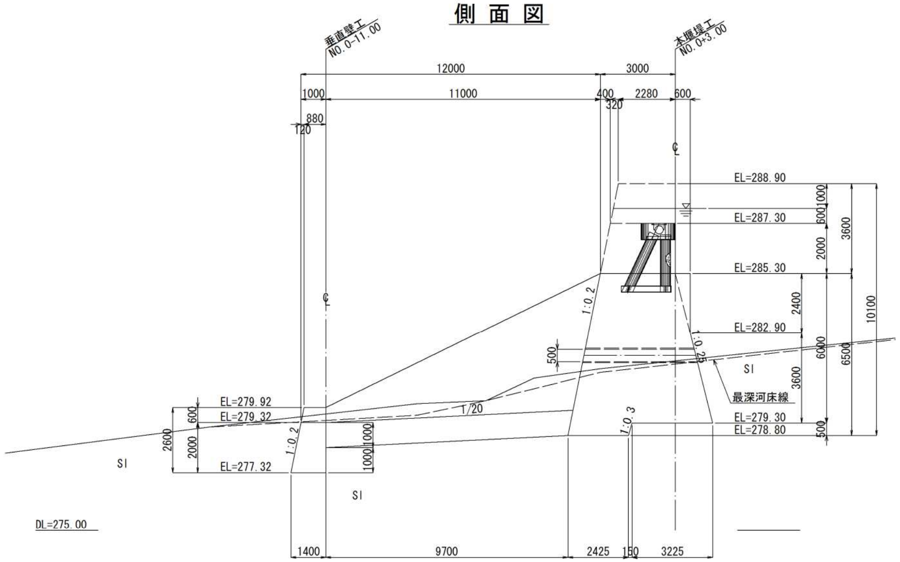
泉沢(3)堰堤構造一般図 S=1:100

本堰堤正面図

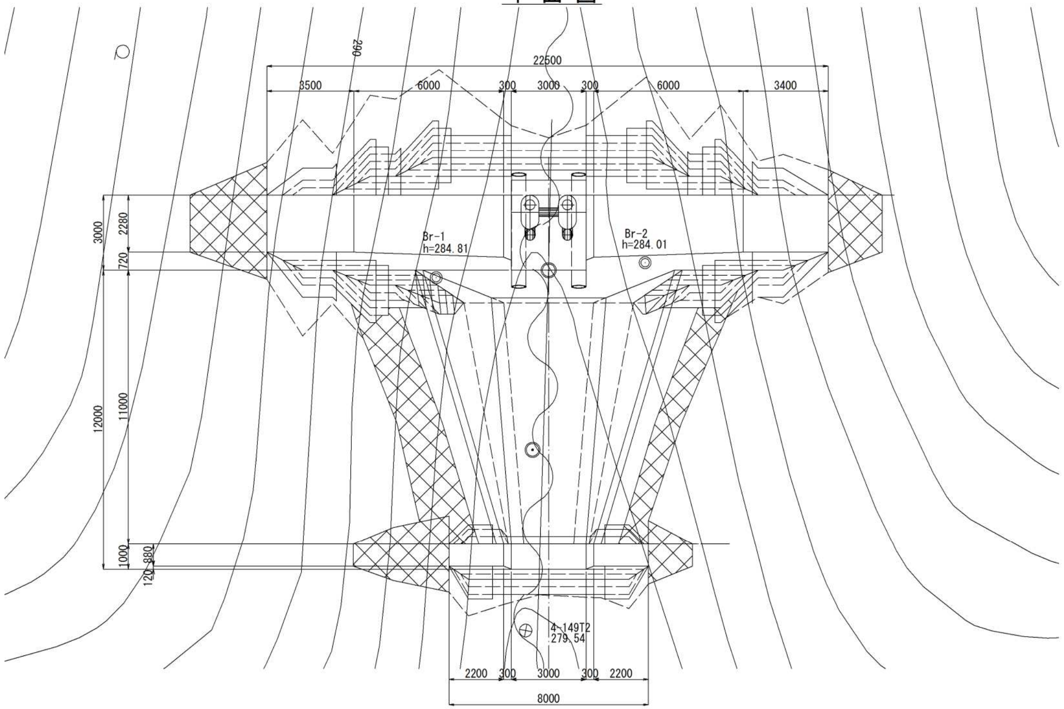
No. 0
GH=281.47



側面図



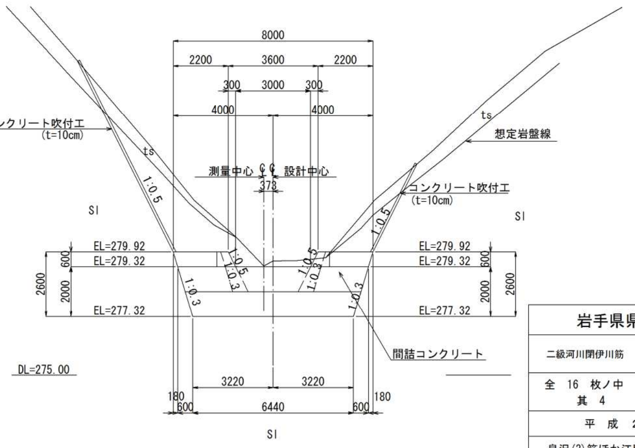
平面図



時代	地層名	記号	主な特徴
現世	表土	ts	・礫混じり有機質シルト
	河床堆積物	fd	・玉石混じり砂礫
	崩積土	dt	・礫・玉石混じりシルト
ジュラ紀	粘板岩	Sl	・N≧50。 ・亀裂はやや多めで、短柱状～片状コア主体。
	チャート	Ch	・N≧50。 ・亀裂はやや少なめで、柱状～短柱状コア主体。
	砂岩	Ss	・N≧50。 ・亀裂はやや少なめで、柱状～短柱状コア主体。
	緑色凝灰岩	Gt	・N≧50。 ・亀裂はやや多めで、短柱状～片状コア主体。

垂直壁正面図

No. 0-14.00
GH=279.55
FH=

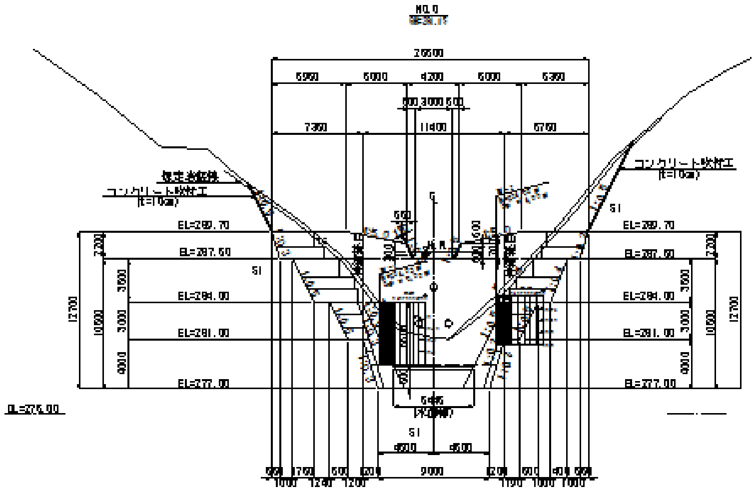


岩手県県土整備部	
二級河川閉伊川筋	岩手県宮古市 江繋泉沢地内
全 16 枚ノ中 其 4	泉沢(3)堰堤 構造一般図
平 成 ２９ 年 度	
泉沢(3)筋ほか江繋地区砂防堰堤工事	
縮 尺	S=1:100

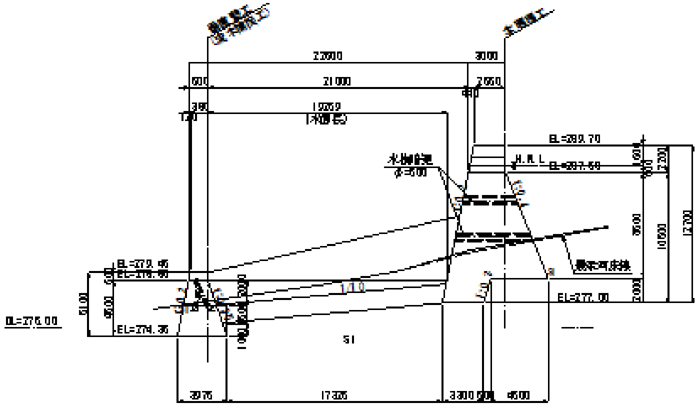
泉沢(4)

泉沢(4)堰堤構造一般図 S=1:200

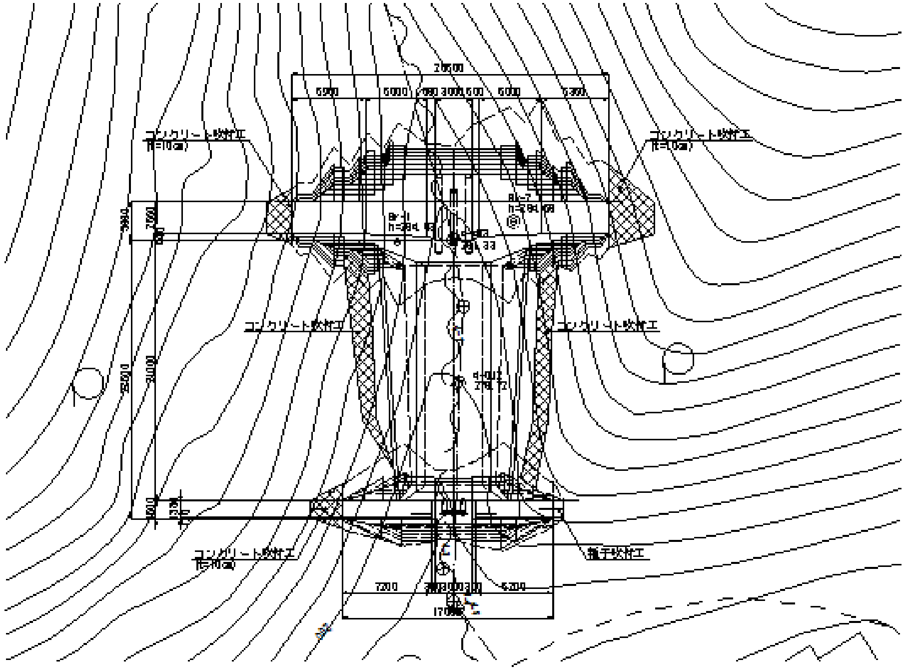
本堰堤正面図



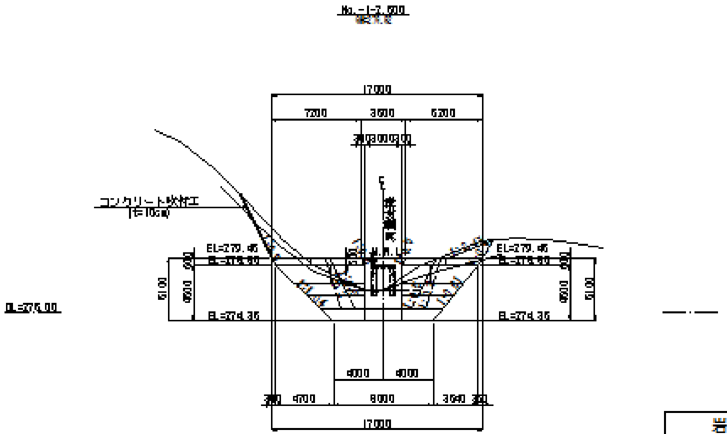
側面図



平面図



垂直壁正面図



岩手県県土整備部	
二級河川閉伊川水系	岩手県宮古市 江繋泉沢地内
全 19 枚ノ中 第 4	泉沢(4)堰堤 構造一般図
平成 29 年度	
泉沢(4)堰ほか江繋地区砂防堰堤工事	
縮尺	S=1:200